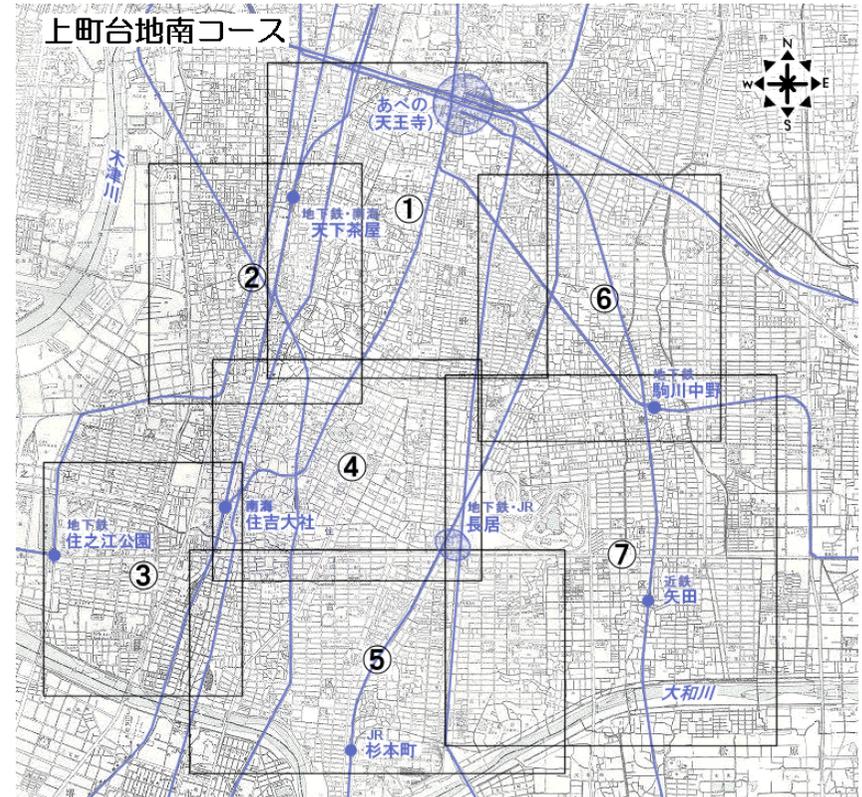


[6] 東住吉区北部

- 33 **山阪神社** (東住吉区山阪二丁目19)
- 34 **法楽寺** (東住吉区山阪一丁目18)
- 35 **桑津遺跡**: この遺跡は、上町台地東斜面に広がる縄文～中世の複合遺跡である。昭和初期の区画整理工事で弥生時代中期前半の遺跡が発掘された。最近では、縄文早期の石器や奈良時代の建物群、木簡などが発見されている。(東住吉区桑津五丁目13 桑津小学校校門左)
- 36 **桑津今川堤跡**: 江戸時代、今川の堤にはハセが植えられていた。紅葉の季節には、ちょうど平野大念仏寺への道筋にもあたることから、名物の「桑津のしんこ餅」の店が並び、大いに賑わったという。(東住吉区中野三丁目4、今川緑道内)



[1] 阿倍野区

- 1 **阿倍寺跡推定地**：大化の改新推進者の一人である阿倍倉梯麻呂らを出した阿倍氏の氏寺と考えられ、付近からは白鳳期の軒瓦などが出土しており、奈良時代前期の創建と考えられる。なお、この地にあった塔の礎石が西成区の天下茶屋公園内に保存されている。(阿倍野区松崎町三丁目6)
- 2 **丸山古墳跡**：大正2年(1813)に発掘された円墳で、表土は鋳物用の土として採取されたため墳墓の形は残っていない。(阿倍野区丸山通二丁目8-5)
- 3 **聖天山古墳**：直径10m、高さ3mの規模をもつ6世紀の古墳である。隣接する(天下茶屋)聖天山のある丘陵自体も前方後円墳の可能性もある。(阿倍野区松虫通三丁目2、聖天山公園)
- 4 **松虫塚**：「松虫」にまつわる伝説を持つ塚で、かたわらに樹齢800年という榎がある。(阿倍野区松虫通一丁目11)
- 5 **阿倍清明生誕伝承地**：平安時代の陰陽師として有名な阿倍清明の生誕地と伝えられる。(阿倍野区阿倍野元町5、阿倍清明神社)
- 6 **もと熊野街道・阿倍野王子**：平安中期から鎌倉時代にかけては熊野信仰が盛んで、「蟻の熊野詣」と形容されるように王朝貴族から庶民に至るまで多くの人々が熊野詣に出かけた。街道沿いには「王子」と呼ばれる休憩所を兼ねた遙拝所が置かれた(全部で99王子)が、ここは大阪市内に残る唯一の場所である。(阿倍野区阿倍野元町9、阿倍王子神社)
- 7 **伝北畠顕家墓**：南北朝時代の南朝方の武将 顕家は、延元3年(1338)阿倍野の地で足利尊氏と戦ったが手兵全員とともに戦死した。21歳であった。ここがその墓であると伝えられる。なお、ここから西へ約1km行った阿倍野神社は顕家と父 親房を祭る。(阿倍野区王子町三丁目、北畠公園)
- 8 **小町塚・播磨塚**：2つの石碑が並ぶ塚はそれぞれ伝説を持つが、被葬者など詳しいことは分からない。(阿倍野区王子町四丁目3)
- 9 **阿倍野神社**(阿倍野区北畠三丁目7)



4 松虫塚



9 阿倍野神社
(北畠顕家塚)

[5] 住吉区南部

- 27 **止々呂支比売命神社**(住吉区沢之町一丁目10)
- 28 **極楽寺**(住吉区遠里小野五丁目11)
- 29 **我孫子鋳物師ゆかりの地**：中世後期には当地に鋳物師集団が居住し、活躍していた。最近の発掘調査で、14~15世紀の銅・鉄製品鋳造用の炉や鋳型が発見されている。(住吉区山之内元町)
- 30 **吾彦観音一大聖観音寺**(住吉区我孫子四丁目1)
- 31 **大依羅神社**(住吉区庭井二丁目18)
- 32 **依網池跡**：古代、この辺りには屯倉が置かれ、灌漑用の池 依網池がつけられた。日本書紀には崇神天皇62年と推古天皇15年に、それぞれ依網池築造の記述がある。(住吉区庭井二丁目17)



30 吾彦観音

